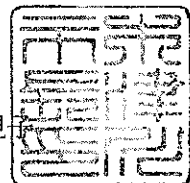




9木建第50号
平成19年5月8日

国土交通省 道路局長 様

木津川市長 河井 規



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について
(今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見書)

平素は、木津川市の行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、平成19年4月2日付（国道企第114号）で依頼のありました標記について
別添のとおり意見書を提出します。

○今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見書

- ・限られた財源の中であっても、真に必要な道路整備を計画的に進めることは重要である。
- ・特にその地域に見合った、具体的な道路整備の方向性を示した中期的な計画の作成は国と地方とが一体となって作成することが必要である。地方だけが頑張っても限度があり息切れする。
- ・新規道路の整備だけでなく、既存道路のメンテナンスの実施を抜きにしては考えられない。道路など社会資本を如何に後世に引き継いでいくのかも重要である。
- ・地域に見合った道路整備を行うことで、住民の皆さんに道路行政に参加する機会を与える。そうすることで、住民とのコミュニティが取れ、道路行政についての誤解や誤認がなくなる。
- ・交通渋滞を緩和するための幹線道路の整備、地域の日常生活を支える道路整備（例えば医療施設などの立地場所を考慮した道路整備、市町村合併を支援する連絡道路の整備）は必要である。

木津川市は、今年3月に3町が合併してできた新市であるが、3町間を結ぶ連絡道路（国道、府道）は整備が遅れており、早急な道路整備が必要である。特に国道24号と国道163号の重複区間である山城町上狛交差点から木津大谷交差点は慢性的な交通渋滞が発生しており、現在、木津東バイパス（仮称）など渋滞緩和に向けた道路整備の要望を行っている。また、木津川市は、学研都市の開発があり、学研都市のポテンシャルを高め、企業誘致などを行うためにも幹線道路・連絡道路などの道路ネットワーク整備促進は不可欠である。

- ・安全で安心な道路の整備については、交差点改良、既存道路の整備による交通事故の抑制、風水害や地震など自然災害に強い道路の整備が必要である。

木津川市域は、幹線道路（国道、府道）に歩道の設置されていないところや歩道が狭いところがあり、現在、交差点改良、歩道設置や歩道拡幅などの整備を要望しているところである。

整備要望箇所

歩道設置・歩道拡幅

国道24号（山城町椿井地区、山城町上狛地区、木津池田～木津八色地区）

府道奈良加茂線（木津梅谷地区）

府道天理加茂木津線（木津宮ノ裏地区）

交差点改良

国道24号（山城町上狛地区、木津大谷・奈良道地区）

国道163号（木津相楽地区）

平成19年5月8日

京都府 木津川市
木津川市長

河井規子

